

## 避難施設関係者連絡会実施報告書

- 1 実施日時 2024年7月17日(水) 10:00～10:55
- 2 連絡会の場所(会場) ゆくのき学園(旧大戸小) 多目的室
- 3 出席者
- 学校 役職 校長 鈴木 元 役職 副校長 中村 万寿生  
役職 副校長 番田 健治
- 防災課 2名
- 指定職員 7名
- 市民 組織名 大戸町会自主防災会 人数 1名  
組織名 都営武蔵岡自主防災隊 人数 3名  
組織名 相原町都営アパート10号棟自治会自主防災隊 人数 1名

## 4 打合せ内容

- (1) 挨拶、構成団体の紹介、自己紹介(学校、地域、町田市)
- (2) 避難施設運営委員長の確認
- (3) 避難施設開設・運営マニュアルの確認と前回の訓練の振り返り
- (4) 避難施設開設訓練の日時、訓練内容の確認
- (5) その他

## 5 議事録(連絡会の中で出た主な意見や意見交換内容など)

### 1 挨拶(避難施設関係者連絡会とは)

大規模災害発生時に避難施設の開設・運営を円滑に実施できるように、学校・地域住民・市の三者で行う打ち合わせの場である。

### 2 構成団体

大戸町会自主防災会、都営武蔵岡自主防災隊、相原町都営アパート10号棟自治会自主防災隊

### 3 自己紹介

### 4 避難施設運営委員長の確認

昨年までは輪番で委員長、副委員長を決めていたが、武蔵岡自治会は在宅非難が基本と聞いており、

---

委員長は避難者が多いであろう大戸町会に、副委員長は、施設管理者である学校長にお願いしたい。

→大戸町会、学校長「承知した」

---

## 5 避難施設開設・運営マニュアルの確認

体育館は土砂災害警戒区域にあたるため、避難場所にはできない。データベースで第一避難所となっている教室から避難者を入れていく。武蔵岡中が満員になったら、大戸小も避難場所にできる。

前回(2023年10月28日)の避難施設開設訓練の振り返りをした。

---

## 6 避難施設開設訓練について

・今年度の避難施設開設訓練の日程については、学校側から10月26日(土)の13:30~90分程度と提案があり参加者全員が了承のもと決定した。

10月26日は午前中に学習発表会があるので、教職員も訓練に参加しやすい。

他町内会の祭りがその日にあるかもしれないが短時間であれば参加可能である。

・能登地震ではトイレや水の問題がクローズアップされたが、今年度の訓練内容はどうか。

現状、ゆくのき学園の備えとして、トイレについてはマンホールトイレをメインに複数の備えがある。

水の備えは、備蓄、応急給水栓があるほか、近くの寺田・大船給水所などでも供給される予定である。

学校や自主防災組織などからは以下のご意見をいただいた

役員が毎年変わるので、昨年と同様の訓練でもよい。

我々の団地では在宅避難の推奨をしているが、水などをゆくのき学園に取りに来る可能性もある。

初期対応が一番混乱すると思われるので、初期対応(受付など)の訓練が必要ではないか。

以上を踏まえて、今年度の避難施設開設訓練については、連絡会参加者合意のもと、初期対応(グラウンドに集合、受付、避難場所の確認)と応急給水栓の訓練を行うことで決定した。

その他、意見や質問などについて

初期対応の訓練では受付を作り、受付に何(受付票、掲示、人)が必要かや、導線の確認が必要。

体育館が土砂災害警戒区域に入っていて、避難場所として使えないため、非常用電源を体育館ではなく中学校に引き直すことはできないだろうか。→短期的には運用でカバーするしかない。

受付や避難施設内に日本語以外の言語の表記も必要かもしれない。

以前示してもらった受付票が使いづらかった。改善されているか。

→今回使う受付票は前回から修正されたものであるが、使用後にご意見をいただき修正したい。

受付は、シンプル(名前、住所、世帯人数のみ)にして、詳細は落ち着いてから聞き取ればよい。

ゆくのき学園に避難できなかつたらどうするか。

→ゆくのき学園が避難できないような状態になっていた場合には、防災無線等でアナウンスするが、在宅避難の検討や近隣の避難施設、避難所等の確認も日ごろからしておいていただきたい。

その他、キーボックスやキーの保管場所(方法)について提案があり、変更を行う予定である。